第 21 期事業年度

（令和６年度）

決　算　報　告　書

自　令和　６年　４月　１日
至　令和　７年　３月　31 日

国立大学法人 信州大学

（様式２－２）

令和6年度　　決 算 報 告 書 （補正予算ー有）

国立大学法人信州大学

（単位：百万円）

区　　分	予算額	決算額	差　額 （決算−予算）	備　考
収入				
運営費交付金	12,907	13,869	962	（注1）
うち補正予算による追加	−	1	1	
施設整備費補助金	2,792	2,824	31	（注2）
うち補正予算による追加	−	−	−	
船舶建造費補助金	−	−	−	
補助金等収入	3,218	3,516	298	（注3）
大学改革支援・学位授与機構施設費交付金	18	18	−	
自己収入	34,999	38,196	3,196	
授業料、入学料及び検定料収入	6,086	6,127	40	（注4）
附属病院収入	28,299	30,703	2,404	（注5）
財産処分収入	−	−	−	
雑収入	613	1,365	751	（注6）
産学連携等研究収入及び寄附金収入等	5,447	5,946	498	（注7）
引当金取崩	−	300	300	
長期借入金収入	6,971	6,681	△ 290	（注8）
目的積立金取崩	1,513	1,074	△ 438	
引当特定資産取崩	−	−	−	
国際卓越研究大学研究等体制強化助成大学運営基金取崩	−	−	−	
計	67,868	72,427	4,558	
支出				
業務費	47,929	52,043	4,114	
教育研究経費	20,133	21,122	988	（注9）
うち復興関連事業	−	−	−	
診療経費	27,795	30,921	3,125	（注10）
うち復興関連事業	−	−	−	
施設整備費	9,781	9,523	△ 258	（注11）
うち耐震対策事業	−	−	−	
船舶建造費	−	−	−	
補助金等	2,911	2,607	△ 304	（注12）
産学連携等研究経費及び寄附金事業費等	5,447	6,040	592	（注13）
長期借入金償還金	1,798	1,773	△ 25	
大学改革支援・学位授与機構施設費納付金	−	−	−	
国際卓越研究大学研究等体制強化助成事業費	−	−	−	
計	67,868	71,987	4,118	
収入―支出	0	439	439	

※本報告書は百万円未満切り捨てにより作成しています。

〇予算と決算の差異について

（注1）　予算段階では予定していなかった運営費交付金が追加交付されたこと等により、予算金額に比して決算金額が962百万円多額となっています。

（注2）　予算段階では予定していなかった施設整備費補助金事業の獲得に努めたこと等により、予算金額に比して決算金額が31百万円多額となっています。

（注3）　予算段階では予定していなかった補助金事業の獲得に努めたこと等により、予算金額に比して決算金額が298百万円多額となっています。

なお補助金等収入には、授業料等減免費交付金が292百万円含まれており、本補助金は授業料等免除に使用しています。

（注4）　在籍者数が予定を上回ったため、予算金額に比して決算金額が40百万円多額となっています。

（注5）　診療報酬改定による診療単価の増、病床稼働率の上昇による入院患者数の増、外来患者数の増、手術件数の増等により、予算金額に比して決算金額が2，404百万円多額となっています。

（注6）　農場演習林収入や学校財産貸付料収入等が予定を上回ったため、予算金額に比して決算金額が751百万円多額となっています。

（注7）　産学連携等研究経費等の獲得が予算段階の見込より上回ったため、予算金額に比して決算金額が498百万円多額となっています。

（注8）　予算段階より借入の減額を行ったため、予算金額に比して決算金額が290百万円少額となっています。

（注9）　予算段階では予定していなかった設備投資等により、予算金額に比して決算金額が988百万円多額となっています。

（注10）（注5）に示した理由に伴い医薬品・材料費が増加したこと等により、予算金額に比して決算金額が3，125百万円多額となっています。

（注11）（注8）で示した理由等により、予算金額に比して決算金額が258百万円少額となっています。

（注12）事業の一部の実施を翌年度以降に実施することにしたため、予算金額に比して決算金額が304百万円少額となっています。

（注13）（注7）で示した理由等により、予算金額に比して決算金額が592百万円多額となっています。